

会期延長は断固反対！年金カット法案

TPP承認案 徹底審議の上に廃案を

日本共産党の小池晃書記局長は21日、国会内で記者会見し、与党内に環太平洋連携協定（TPP）承認案や年金カット法案などを成立させるために、今月30日までとなっている今国会の会期の延長を求める声が出ていることについて問われ、「会期延長には断固反対だ」と表明しました。

小池氏は、国会会期は、その会期内で法案の議論を尽くし、結論が出なければ合意が得られなかったものとして廃案にするというのが常道だと指摘。「会期通りに閉会するのが当然だ」と強調しました。その上で、「与党が何としても、年金カット法案、TPP承認案・関連法案を通したいから延長をするというのは断じて認められない」と批判。与党から会期延長の話が持ち出されれば「断固反対する」と批判しました。

小池氏は、同日の参院TPP特別委員会での日本共産党議員の追及にふれ、民泊の問題やISDS（投資家対国家紛争解決）条項の問題など、「審議すればするほど、新しい論点、問題点が浮上する。25日の中央公聴会で国民の声をしっかりと聞き、それを踏まえ、さらに審議を積み重ねるべきだ。日本共産党はこうした徹底審議をした上で、廃案を目指して奮闘する」と述べました。

ドナルド・トランプ次期米大統領は21日、来年1月20日の就任当日に提示する政策概要を説明したビデオを発表し、選挙時からの公約であった環太平洋連携協定（TPP）交渉からの撤退を正式に表明しました。

県道小田河辺大洲線の通行止めが解除されます

12月2日(金曜日)午後から通行できます。

梅木市議は、9月議会で通行止めの日も早い解除を求め、また迂回路の安全確保など求めました。また、市民の方々に、「あらゆる機会に、知りうるあらゆる手だてをとり、それぞれが持つルートで要望をしていこう」と呼びかけました。また、市民の皆さんと現地視察やダム事務所に申し入れなど行い、要望してきました。

沢山の方々が、本当にこの5ヶ月間、迂回路で疲れてしまいました。多くの方々が、車の損傷をきたしたといえます。高齢者の方々は、苦痛で苦痛で、でも病院に行かないといけないからと耐えて耐えての5ヶ月でした。中には、旧大洲市内に転居された方もありました。

やっと12月2日に通行止め解除されます。再び、ダム建設工事などで、市民に負担をかけることのないように、強く求めます。

産業建設委員会で管内視察報告を行いました

市議会議員 梅木かづこの視察報告です

11月18日、産業建設委員会で管内視察を行いました。

長浜の末永邸付近にできた駐車場やトイレ、休憩室など見ました。総工費8600万円です。休憩室が狭く、よそから訪問した方が、ベンチでお茶を飲みながら楽しむ空間が、庭にあればいいのと思いました。

慶雲寺団地の耐震補強工事は平成29年3月完成でおよそ1億1000万円で行われます。

JR大洲駅諸舎1号（ワープ跡）詰め所6号（ウィリーウィンキー跡）を取り壊し、トイレ、観光案内、物産販売所を計画されており、平成30年に本体工事に入るものです。市民の方々のご意見も反映したものにすべきと思いました。

柚木の松井家住宅が平成27年10月に所有者から寄付されました。28年5月に大洲市有形文化財に指定。「臥龍山荘とセットで新たな観光ルートにする。本体工事は29年度以降」と言います。

荒間地トンネル補強工事は、全体事業費2億400万円で行われていました。6500万円です。漏水対策、照明器具のLED化など実施。

成能にある八幡浜官材共同組合を視察、初めて入りました。大きな木材の皮むきがされていました。また高熱水蒸気で乾燥させて商品にしていました。入荷される木は大きさがほぼ同じものでした。

最後に鹿野川のダムに作られる洪水吐きなど改造事業を見てきました。長径11メートルの穴に再び入ることができました。「洪水期以外は、空洞にして、水は全くない状況にしておく」と言います。空気もあるというので、原発事故の際の避難場所になるのではと思いました。トンネルから、放流したときの下流への負荷や堤防などへの影響、自然への影響など今に至っても心配されます。